

事業評価書

補 助 事 業 名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（教育文化施設：小学校大型提示装置）整備事業						
補 助 事 業 者 名	北広島市長						
実 施 場 所	北広島市立東部小学校（北広島市中央4丁目4番地） 北広島市立西の里小学校（北広島市西の里401番地） 北広島市立緑ヶ丘小学校（北広島市高台町2丁目1番地） 北広島市立大曲東小学校（北広島市大曲光2丁目8番地）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本市では、市内全小中学校の普通教室のほか、理科室等の特別教室にプロジェクターを整備し、デジタル教科書をはじめ、web配信の教育用コンテンツ利用など、学校ICTの環境整備を図り、効果的に学習を実践している。 令和元年度に整備したプロジェクターは、多くの授業で活用されているが、室温、チョークの粉等、学校におけるプロジェクター機器にとつての環境は非常に厳しく、耐用年数(財産上の耐用年数は、5年)の経過もあり、ランプの玉切れや投影輝度の劣化が著しい状況にあり、授業に支障をきたしている。 以上のような状況から、本事業で大型提示装置等を整備することにより、より明るく、鮮明な映像を投影するとともに、情報通信技術を有効的に活用した学習活動を実施することで、教育環境のより一層の改善・充実を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	全 体：大型提示装置267台、BDレコーダー267台 本年度：大型提示装置86台、BDレコーダー86台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	全 体：令和5年度～令和7年度 本年度：令和7年6月～令和7年9月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度 まで	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	90,794,000	47,025,000				137,819,000
	交付金額	75,000,000	44,468,000				119,468,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業に関し、小学校教員や児童に関き取りを行ったところ、「ディスプレイが明るく、映像の品質も向上したことで画面が見やすくなった」、「1人1台端末との無線接続や書き込み機能等、機能が多彩で授業での活用場面が大幅に増えた」などの意見があり、同校におけるICT機器を有効的に活用した学習活動の実践に大きく寄与したものと評価できる。 また、整備した備品には令和7年度防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により導入した旨を貼付し、学校だより及び市教育委員会ホームページへ掲載した。						
事業の改善措置及び今後の対応	本年度の事業により市立小中学校すべての大型提示装置の更新が完了した。今後、不具合が発生した場合は適切に対応していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（交通施設：市道新富西 1 1 番通線道路改良舗装）整備事業						
補 助 事 業 者 名	北広島市長						
実 施 場 所	北広島市新富町西3丁目						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	当該路線は、地域住民の生活道路として利用されているが、道路の劣化が著しく、補修箇所が多数発生しているため車両の走行性が悪い状況である。よって、低下した道路機能の回復が求められている。 本事業は、道路改良舗装工事を実施することにより、これらの障害を解消し、生活環境の改善を図るものである。						
補 助 事 業 の 内 容	全 体：実施設計 一式 改良舗装工事 L=218.67m W=5.5m 本年度：改良舗装工事 L=81.11m W=5.5m						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	全 体：令和3年度～令和7年度 本年度：令和7年7月～令和7年11月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度 まで	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円 39,564,214	円 21,011,100	円	円	円	円 60,575,314
	交付金額	22,993,000	13,600,000				36,593,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	工事実施により、円滑な交通を阻害する原因である亀裂や陥没等が除去され、近隣住民の生活環境および地域の生活基盤の向上が図られた。 沿線住民への聞き取りでは、「道路の亀裂や陥没、水たまりが除去され安全に通行できるようになった。」等の評価を得た。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を、工事期間に工事案内文、工事看板及び北広島市ホームページに掲載することにより周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も道路状況を確認し、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						